

令和6年度

豊島区民の皆さまへ

豊島区障害者地域生活移行支援事業のご案内

当事業は、「(福)豊芯会/地域生活支援センターこかげ」が、豊島区から委託を受けて実施しています。精神科病院に1年以上入院している豊島区民の皆さまが、安心して退院後の生活をイメージできるように「複雑に絡み合った困りごと」を紐解くお手伝いをします。



「退院については考えられない。けど、今の気持ちを誰かと話したい」
「これからの人生、自分はどうしていきたいのかなあ...」

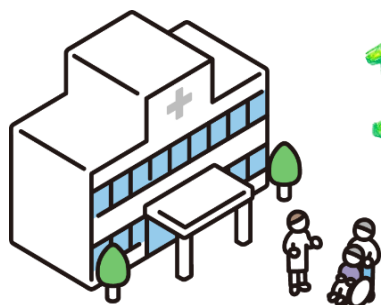
地域生活支援センターこかげのスタッフが入院先を訪問して、こうした気持ちをお伺いするところから一緒に考えていきます

このような方が利用できます

- ・現在、豊島区に住民票がある方
 - ・入院時に、豊島区に住民票があった方
 - ・豊島区の生活保護を受けている方
(住民票が病院所在地に変更になっていても大丈夫です)
- 上記のいずれかにあてはまり、かつ
- ・入院して1年以上、あるいはもうすぐ1年を超えてしまいそうな方

退院に向けての支援の流れ

～入院中のあなたにわたしたちがお手伝いできること～



1

ピアサポーターやこかげスタッフが病棟に伺います
家族のこと、お金のこと、カラダのこと、自分の気持ちなど、一人で向き合うには大変なこと、辛いことを一緒に考えて整理します。当事業におけるピアサポーターは、豊島区内の障害福祉サービスや精神科医療機関などを利用している障害当事者で、ピアサポーター養成研修を受講した人です。

2

聞いて、見て、体験します

複雑に絡み合った問題を整理するために、必要な情報と体験の機会を提供します
主治医の許可のもと、
外食をしたり、図書館や猫カフェなどご希望にあわせまず
体験を通して、あなたの退院後の生活イメージをつくり、
あなたの希望を家族や病院スタッフの皆さんと分かち合います



3

具体的な住まいを探し、身の回りの準備をし、 地域で孤立しないための繋がりを作ります

退院後の生活イメージを周囲の人とも共有できれば、あとは具体的なことを準備していきます。そのためには「地域相談(地域移行支援)」という制度を利用することがお勧めです。住まい探しや身の回りの準備(家具の購入など)など、月2回以上の支援でスムーズに進めていきます。制度の手続きも含めて、当事業が支援の切れ目がないようにサポートします。

※事業利用にお金はかかりません。

(外出時等のご自身の交通費や食費は、ご自身でお支払いいただきます)

「利用を検討したいけど、どうしたら良いかわからない」などご質問ありましたら、下記までご連絡ください

社会福祉法人 豊心会 地域生活支援センターこかげ

〒170-0005 豊島区南大塚3-32-9 西島ビル4階

TEL: 03-5958-1990 FAX: 03-5958-2096

e-mail:kokage@housinkai.or.jp

※ お電話の受付は 月～金曜日 11:00～18:00です